



み た むら さと し
三 田 村 聡

生 年 月 1986年 6月 愛知県生まれ
最終学歴 2009年 名古屋大学
芸術工学部 都市環境デザイン学科 卒業
2011年 名古屋大学
環境学研究科 都市環境学 専攻 修了
業務経歴 2011年 ㈱竹中工務店入社
現在 大阪本店設計部

●担当した主なプロジェクト
2012年 関空LCC旅客ターミナル
2014年 イオンモール京都桂川
2016年 京都東山計画
2017年 ネットヨタ高槻店
2018年 トヨタカローラ名神茨木店
2020年 コニカミノルタ
Innovation Garden OSAKA Center

■青年技術者のことば

建築を設計する際、時代・場所・文化などによってあるべき建築の姿は異なります。その場所・その時に自分が良いと思える建築をつくることこそが設計者としての使命であり最大の楽しさであると感じています。

私は設計をする際には「敷地」と「プログラム」を強く意識しています。「敷地」においては、視覚化されていない事象を様々な着眼点・切り口により可視化し、「プログラム」においては用途の意だけでなく、建築主の事業が求める機能、時代・社会的動向における建築の持つ役割も含めた広義で考えます。これら条件に対し、考えうる限りのスタディを行い「敷地」と「プログラム」がうまく絡まるかたちを模索しています。体系的なスタディと発散的なスタディを行き来しながら可能性を検証し、条件への理解が深まれば深まる程、良い建築ができると考えているからです。私が目指す設計は自らの経験をもとに、その建築と真摯に向き合い、新たな発見をすることで自らが経験のしたことない空間をつくることにあります。今後も経験値が増えていく年代として、過去の経験を焼き直すのではなく、常に新しい建築への挑戦を続けていきたいと思っています。

■すいせん者

山田義浩
㈱竹中工務店
大阪本店設計部 第5設計部門長



Innovation Garden OSAKA Center

周辺に応答し、すれで積層する断面と各階で異なる外部空間、分散コアによる自由な経路、非均質な環境が場の濃淡をつくる、選択性を高めたワークプレイス



トヨタカローラ名神茨木店

アスファルトがめくれ上がったような屋根の上に車が展示されるショールーム。車の楽しさ、動的体験やスケール、スピード感を取り入れた新しい建築の形



ネットヨタ高槻店

L字型の底の架構を4つ重ねた下に展示・商談スペースを設けた車のショールーム。内外部、高さ、光などの変化より多様な領域をつくり出している